

前回の交流会の報告

9月26日(水)にボランティアビューロー・あいまち合同研修「災害時のボランティア活動について知ろうー災害時の備えー」を開催しました。あいまち会員を含む40名の方にご参加いただきました。

台風被害の対応で忙しく予定していた講師が来れなくなったため、急遽内容を変更する事態になり、参加者の皆さまにご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

「地震が来たとき何をしていましたか？」



大きな揺れで驚いたことや当日自分がどういう行動をとった等、地震が来た時の感覚を思い出しながら先生の話の話を聞きました。

「安心・安全な暮らしが失われてしまう」

災害が起こった時に【安心・安全な暮らし】を回復させる取り組みが必要になります。そこで自分たちで助け合う様々なボランティア活動が求められます。

「災害から助かるために

自分に最低限必要なものは何だろう？」

いくつかのグループに分かれて持ち出し袋に入れるものを【水2L+10個選んでリュックに入れる】というルールを設けて考えました。“自分が助かるために必要なもの10個”を皆さん積極的に考えて議論されていました。



「自分しか使えないものを優先して選ぶ」

「持ち出し袋は持ち運べる重さにすること」

今回、講師としてお招きした大阪市ボランティア・市民活動センター一浜辺氏は「他人に借りれない**メガネ・入れ歯・補聴器**は必須。他には①**体温を下げない**、②**少しでも空腹を満たして安心感を得る**、③**自分の身を守る**、といったことを意識して自分に必要なものを持ち出し袋に入れてほしい」とアドバイスがありました。



* 参加できなかった方へ *

当日配布した資料が必要な方は、事務局までご連絡ください。お渡します！

講師への質問もたくさんあり
皆さんの災害に対する
意識の高さを実感しました！



活動のレポート

今回は、家事のお手伝いの活動にお邪魔しました。訪問した時は、活動会員さんがもち粉を練っていて白玉サイズのおだんごを作っているところでした。おだんごを作っている時も「作ったおだんごは何の料理に使うの?」「昔は白玉粉でおだんご作ったわ」「もち粉のおだんごは初めて作るから上手くできなかったらごめんね!」「いいよ、気にせず作ってね」と楽しくお喋りしながら活動されていました。何度か顔を合わせるうちに顔見知りになって仲良くなって...依頼・活動関係なく近所の顔見知りが増えるのもあいまちの特徴だと思いました。



応援会員 募集中

あいまちの活動には参加できなくても、取り組みに賛同し、住みよい地域づくりへの協力のひとつとして参画したいと思われる方や団体などに「応援会員」として支えていただく仕組みです。お力添えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎年会費...1口 1,000円

◎問合せ...あいまち事務局 06-6913-7066

※平成27年10月1日より賛助会員→応援会員に名称を変更しました。

年会費1口3,000円→1,000円に改定しました。



運営状況

平成30年9月30日 時点

地域別会員数

会員数		381人	
緑	14人	茨田東	51人
鶴見北	19人	茨田北	48人
鶴見	21人	焼野	23人
榎本	18人	茨田西	26人
今津	30人	横堤	35人
茨田南	55人	他区	7人
茨田	30人	その他	4人

※取消・退会は除く

相談・派遣件数 (H29.9月~H30.9月)

